

令和5年2月28日

地域薬剤師会会長 各位

一般社団法人 大阪府薬剤師会
会長 乾 英夫

大阪府薬剤師会学術研究カンファレンス 口頭発表申込について

拝啓 先生におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は本会会務の運営に関し、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さてこの度、各地域ブロック会議および地域・職域薬剤師会会長協議会でご説明させていただきました標記につきまして、令和5年度より薬局薬剤師の未完成の成果・研究・取り組みの発表の機会を提供する場を設けることといたしました。途中成果・研究なども含めた内容で結構です。発表力を磨くための第1歩としていただきたく、貴会会員にご周知くださいますよう、お願いいたします。 敬具

※発表される方は、地域薬剤師会を通して令和5年4月30日（日）までに下記Google フォーム（QRコード）からご登録ください。期日までに発表登録がご無理な場合は、学術・研修課までご連絡ください。

記

- 日 時 令和5年8月27日（日） 午後開始予定
- 場 所 大阪府薬剤師会 本館3階 大ホール（Zoom 視聴併用）
※当日、発表者は本会へお越しください（関係者の方もお越しいただいて結構です）。
- 対 象 大阪府薬剤師会 会員
- 内 容 1. 基調講演（90分）
（予定） 学会発表や論文発表の書き方、初心者向けの研究発表者へのアドバイス等
2. 口頭発表（1題：15分（発表7分、質疑応答などカンファレンス8分予定）
3. 口頭発表内容の最終評価等（30分）

※発表内容、テーマについては別添をご覧ください。

下記より、発表者・内容の概略を登録ください。改めてご連絡させていただきます。

「発表登録 Google フォーム」
<https://forms.gle/XcYsVLgLPo6iJZs6>



【問い合わせ先】

担当：大阪府薬剤師会 学術・研修課
電話：06-6947-5481
FAX：06-6947-5480
Mail：opa-gak@osaka-fuyaku.jp

令和5年3月2日

(一社)富田林薬剤師会
会員各位

(一社)富田林薬剤師会
会長 南 貞子

大阪府薬剤師会学術研究カンファレンス 口頭発表申し込みについて

平素は本会活動にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さてこの度、令和5年度より薬局薬剤師の未完成の成果・研究・取り組みの発表の機会が設けられました。途中経過・研究なども含めた内容で結構です。発表力を磨くための第一歩としています。よろしく願いいたします。
※発表される方は、地域薬剤師会を通して令和5年4月30日(日)までに下記 Google フォーム (QR コード) からご登録ください。期日までに発表登録がご無理な場合は、学術・研修課までご連絡ください。

<本カンファレンスの趣旨>

- 薬局薬剤師のエビデンス発信力と科学力の向上をサポートすることが目的です。
- 若手から中堅の薬剤師を対象に発表機会を提供します。年齢は問いません。
- 本カンファレンスでは、大阪府薬剤師会の学術研究倫理審査委員会審査者や学術倫理審査推進委員会の委員 等が加わり、発表された研究のブラッシュアップを目指します（ステップアップできる研究発表を発掘）。
- このディスカッションの様子を多くの参加者が視聴することによって、学術研究でできる薬剤師の育成に繋がります。
- 大阪府内の薬局における薬剤師間の取り組みを共有することで、連携を深めます。⇒1薬局だけでなく、多薬局連携で発表することも可能
- 発表する研究は、完成したものでなくても結構です。
 - 1.これから取り組もうと考えていること（構想段階で構いません）
 - 2.既に薬局で取り組んでいること（未発表）
 - 3.地域ブロックでの薬局薬剤師の取り組みの途中成果・研究なども含めた内容

<テーマについて>

- 地域医療・チーム医療における薬剤師の役割
 - シームレスな患者フォローのための連携
 - 薬局薬剤師とかかりつけ医との在宅を含めたタスクシフティング
 - ポリファーマシー・地域フォーミュラリ・患者フォローアップなどへの取り組み
 - 薬物療法を通しての患者さん、医師、その他医療スタッフへの関わり方
 - 以前に発表した演題の不完全燃焼部分の相談
 - その他、どのような事例などでも構いません。
- 各項目は疾患（心不全・癌などを対象にして頂いても）、疾患にとらわれない取り組みなどの発表を頂いても構いません。ご自由にご発表ください。

以下の構成で検討頂けるとイメージしやすくなります。

- ① 発想の要旨、考えたきっかけ、背景など
- ② プロトコル、手順など⇒倫理審査申請書類の作成などに役に立つ
- ③ 結果の予想。例：「〇〇となることが予想できる」など
- ④ 考察。例：「〇〇となることで患者さんの負担軽減につながるため、本事例に取り組んでいきたい」など
- ⑤ 課題・問題点・制約。例：「〇〇に対する人件費が必要となり、そこをクリアすることが課題である」など

<口頭発表申込について>

発表内容の概要を「発表登録 Google フォーム」よりご提出ください。
演者の先生には改めてご連絡させていただきます。

●薬剤に関するご講演を頂く際は、承認された効能・効果、用法・用量を誤解させるような表現はお控えください（適応外使用など ⇒ただし、倫理審査承認を受けた学術的発表内容はこの限りではありません）

誤解回避の例：添付文書の記載を 注釈に加えて いただく等、ご考慮ください。

●自験例、症例を提示される場合は有効性/著効例のご紹介のみとならないよう、安全性も含めてお願いいたします。また、スライドへの注記をお願い申し上げます。

例：「紹介した症例は臨床例の一部を紹介したもので、全ての症例が同様の結果を示すわけではありません」

●学会報告をご紹介いただく際は、学会名・年代を引用として記載をお願いいたします。

●臨床試験やその他関連の情報をご紹介頂く場合は科学的根拠に基づく情報であることを示すため、引用元をご記載 いただきますよう、お願い致します。